2020 年 中学生国際会議　（実施計画）

2020 年 11 月 7 日更新
NPO 法人 スプラタルカ

趣　旨

本国際会議を通して、参加国の中学生が相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解を目指す。同時に、県内の中学生が世界へ目を向け活躍する人材育成の機会とする。

中学生国際会議　詳細

1. 会議の運営

主催：NPO 法人 スプラタルカ
後援：うんな中学校
後援：恩納村教育委員会

2. 開催期日（案）

2020 年 11 月 22 日（日曜日）

日本時間	14:00 – 16:00
マレーシア	13:00 – 15:00
タイ	12:00 – 14:00

3. 会議参加者（3 カ国）　＊各国の希望者 10 名程度　＊中学生相当

① 日本（沖縄）：　うんな中学校 生徒
https://unnajhschool.ti-da.net/
② マレーシア（Penang）：Bukit Mertajam High School 生徒
https://en.wikipedia.org/wiki/Bukit_Mertajam_High_School
③ タイ（Bangkok）：　Rachawinit School 生徒
https://www.facebook.com/rachawinitschool/
＊その他：　通訳（各国）、司会、見学者（若干名）

4. 会議内容　テーマ：

「コロナ後の世界に向けて」（After the threat of Corona virus」）
「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、自分にとって何が必要だと思いますか？」
「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、社会に必要なものは何だと思いますか？」
“What do you think you need for yourself after the threat of Corona virus?”
“What do you think we need for our society after the threat of Corona virus?”

5. 会場

日　本：　　各家庭
マレーシア：　　各家庭
タイ：　　各家庭

6. 会議形式

- 各家庭から、ビデオ通話を使って個人単位で参加する。
- ビデオ通話で参加するための装置（パソコン、スマホなど）は、特に限定しない。

7. 会議の目的

新型コロナウィルスの脅威の中、世界中の人々が、その生活様式や世界観すら変更を余儀なくされている。そのような状況の中、「コロナ後」の暮らしについてお互いの意見や考えを交換することで、ものごとについての理解を深める。

また、他国の中学生の意見を聞き、そして議論することで、国による考えの違いや共通点を実感し、世界の同世代の連帯を図る。

さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

8. 国際会議のプログラム構成

＊日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:00-14:01 （1 分）	Ice Break タイム！ ＜参加者全員＞	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。　＊全員で復唱する。
	14:02-14:03 （1 分）	司会者のあいさつ ＜全体司会者＞	全体司会者が、会議開催のあいさつを行う。
自己紹介	14:05-14:08 （3 分）	自己紹介 （日本、タイ、マレーシア） ＜参加者全員＞	参加者全員が自己紹介を行う。 ● 通訳（教師）から先に行う。 ● その後、その学校の生徒が続く。 ● 簡単に名前だけで行う。
学校紹介	14:10-14:20 （9 分 各 3 分×3）	学校の紹介とコロナ禍の現状の紹介 （日本、タイ、マレーシア） ＜各国担当者＞	各学校の紹介と新型コロナウィルスの脅威の中の暮らしぶりを紹介する。 ● 発表担当者（分担可能）が、発表する。 ● 他の国の生徒は、質問できる。
界のナに世後	14:25-14:50 （25 分）	Q1:「新型コロナウィルスの脅威が去ったの	主題「コロナ後の世界に向けて」というテーマのもと、その先の自分自身の姿につい

		ち、自分にとって何が必要だと思いますか？」 という問いについての意見交換 ＜参加者全員＞	て問いただす。 「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、自分にとって何が必要だと思うか？」という問いについて議論する。 ● 事前にこの問いについてワークシートに各自の意見をまとめておく。（事前準備） ● 国を指定せず、自由に意見を取る。 ● 意見は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。（スタッフが通訳する。） ● 他の生徒は、その意見について質問したり、意見したりする。 ● 通訳は、同時進行が出来ないので、各国順番に通訳する。 ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
	14:50-14:52 （2 分）	休憩	2 分間の休憩
コロナ後の世界に向けて	14:55-15:20 （25 分）	**Q2:「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、社会に必要なものは何だと思いますか？」** という問いについての意見交換 ＜参加者全員＞	**主題「コロナ後の世界に向けて」**というテーマのもと、その先の社会の姿について問いただす。 「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、社会に必要なものは何だと思うか？」という問いについて議論する。 ● 事前にこの問いについてワークシートに各自のアイデアをまとめておく。（事前準備） ● 国を指定せず、自由に意見を取る。 ● 意見は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。（スタッフが通訳する。） ● 他の生徒は、その意見について質問したり、意見したりする。 ● 通訳は、同時進行が出来ないので、各国順番に通訳する。 ● 全体司会者は、時間を見ながら適当な

			ところで切り上げる。
自由質問	15:25-15:35 （10 分）	自由な質問 （自由に質問をしあう） ＜参加者全員＞	お互いが興味あることについて、自由に質問を行う。 ● 国を指定せず、自由に質問を取る。 ● 質問内容は、特に制限しない。 ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
終わりのあいさつ	15:35-15:36 （1 分）	国際会議終了のあいさつ ＜全体司会者＞ ＊ビデオ通話は継続中	国際会議終了のあいさつ。 ＊ビデオ通話を切断しない。
	15:38-15:40 （2 分）	休憩	2 分間の休憩
全体のまとめ	15:40-16:00 （20 分）	本会議のまとめ 感想の発表とワークシート記入 ＜参加者全員＞	今日の会議について感想を述べる。 ● ワークシートに自分の感想をまとめる。 ● 今回の会議について、各国の参加者全員から意見や感想を取る。 ● スタッフなど他の参加者からも意見や感想を取る。
	16:00-16:02 （2 分）	国際会議終了のあいさつ ＜全体司会者＞ ＊ビデオ通話を終了	会議の終了を伝える。 ＊国際会議終了

9. 事前準備

1. 学校の紹介資料を全員で作成する。
   - 写真や図を使って資料を作成する。英語の説明も加える。
   - 新型コロナウィルスの影響も、説明に加える。
   - 2 分弱の発表にまとめる。
2. 各自、**「コロナ後の世界に向けて」**改めて考え、テーマに沿った２つの質問について、事前にワークシートに答える。

   Q1 :「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、自分にとって何が必要だと思いますか？」

   Q2 :「新型コロナウィルスの脅威が去ったのち、社会に必要なものは何だと思いますか？」
   - 出来るだけ具体的に答える。
   - アイデアや意見は、複数あってもよい。
   - 通訳を考え、出来るだけ簡潔に答える。

3. 学校紹介役を決めておく。（複数名も可能）
   - 準備は一緒に行う。
   - 発表者が複数の場合は、順番などを確認しておく。（実際の発表は一人ずつ）
4. 通訳は、コミュニケーションの流れを理解しておく。
   - 全員が同じスクリーンに登場し、音声も全員に聞こえるので、通訳は各国順番に行っていく必要がある。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。　（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

意思疎通の流れ

1. 意思疎通の流れは以下の通り。

「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→＜インターネット＞→
→「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」
→「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」

「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→＜インターネット＞→
→「通訳 1（母語 1）」→「相手生徒」
→「通訳 2（母語 2）」→「相手生徒」

補　足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。
2. 参加希望者が多い場合は、3 年生の参加を優先する。

国際会議開催までの日程（案）

1. 　　～11 月 6 日（金）　参加者　募集期間
   ＊参加予定者は、研修前にワークシートを記入しておく。

2. 11 月 9 日の週　放課後　事前研修・準備（複数回）　＊学校内
   - 参加者自己紹介
   - 各自の意見発表
   - 役割分担
   - 資料作成（学校紹介など）
   - 相手校の紹介・調査

3. 11 月 15 日（日）10:00 – 11:00　事前研修　＊Zoom 上（自宅）

- Zoom の操作確認
- 発表練習

4. 11 月 22 日（日）14:00 – 16:00　本会議開催（各家庭からビデオ通話による参加）
   ＊16:30-17:00 は、日本側だけで接続し、まとめを行う。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ
〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369　　代表：本田勝也
info@supratarka.org
https://www.supratarka.org/
https://www.facebook.com/supratarka/

Supratarka

https://www.supratarka.org/
info@supratarka.org